

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2005-510494(P2005-510494A)

【公表日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-537585(P2003-537585)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 7/06

【F I】

A 6 1 K 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月24日(2004.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0.01Hz及び25で110Kpa.s-500Kpa.sの粘度を有している少なくとも1つのシリコーンプロックコポリマーを少なくとも1つのヘアコンディショニング剤と共に含んでおり、組成物がシャンプー組成物でないことを特徴とするリーブオン型美容組成物。

【請求項2】

0.01Hz及び25で110Kpa.s-500Kpa.sの粘度を有している少なくとも1つのシリコーンプロックコポリマーを2-30重量%のエアロゾル噴射剤と共に含むことを特徴とする美容組成物。

【請求項3】

更に、ヘアコンディショニング剤を含むことを特徴とする請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

ヘアコンディショニング剤が0.01-10重量%の量で存在するカチオン性ヘアスタイルリングポリマー及び/または0.1-5重量%の量で存在するカチオン性界面活性剤を含むことを特徴とする請求項1または3に記載の組成物。

【請求項5】

シリコーンポリマーが0.01-10重量%の量で存在することを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項6】

シリコーンポリマーがポリマー鎖の少なくとも一端で2-6個の炭素原子を含有するアルケニル基で終結していることを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項7】

シリコーンポリマーが、末端の各々でケイ素原子に結合した式($\text{C H}_2 - \text{C H}_2$)の基を少なくとも1つ含んでいることを特徴とする請求項1から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項8】

シリコーンポリマーが式:

$X \{ (R^1) (R^2) Si - [O - Si (R^3) (R^4)]_n - O - Si (R^5) (R^6)$

) - C H₂ - C H₂ }_p Si (R⁷) (R⁸) [- O - Si (R⁹) (R¹⁰)]_m - O - Si (R¹¹) (R¹²) X

を有しており、式中の、

X 及び X' が独立に H またはビニル (C H = C H₂) 基を表し；
R¹、R²、R³、R⁴、R⁵、R⁶、R⁷、R⁸、R⁹、R¹⁰、R¹¹ 及び R¹² が独立に、1 - 12 個の炭素原子を有しているアルキル基を表すか、アリール基またはアラルキル基を表し；

n 及び m の各々が独立に、5 - 10000、好ましくは 50 - 5000 の範囲の正の整数であり；p が 1 - 100 の範囲の正の整数であることを特徴とする請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

シリコーンポリマーが 0.01 Hz 及び 25° で 110 Kpa.s - 300 Kpa.s の粘度を有していることを特徴とする請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

ヘアスタイリング組成物であることを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

エアロゾルムースの形態であることを特徴とする請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

0.1 - 1.0 重量 % の非イオン性界面活性剤を含むことを特徴とする請求項 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

0.01 Hz 及び 25° で 110 Kpa.s - 500 Kpa.s の粘度を有しているシリコーンポリマーを含むリープオン組成物を毛髪に塗布することを含む頭髪の手入れ方法。

【請求項 14】

毛髪を所望の髪型またはスタイルに形成する段階を含む毛髪のスタイリング方法であることを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

シリコーンポリマーを請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物の形態で毛髪に塗布することを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の方法。